



# 第14回海外ビジネス研究会



## 国際商業都市「香港」の概要と、香港人気質について

昨今、残念ながら政治的な問題で耳にしない日は無いですが、中国を中心としたアジアでの商売を考える際、香港が重要な窓口の一つなのは疑いがないと思います。

もともと人気の観光地として日本人にとって親近感があったのは勿論、イギリス、そして欧米諸国の影響を色濃く受けた香港は、欧米スタイルとは何かと異なる中国本土との商売の架け橋として非常に重要な都市でした。また、香港人も非常に親日の方が多く、多くの香港人が日本を訪れており（2018年度国別訪日外国人ランキング、第4位）、日本商品・サービスへの需要も高く、多くの日本企業が香港自体のマーケットを求めて進出していました。

一方、なかなか混乱が収束する気配がないですが、その混乱は香港と言う都市の歴史と、香港人の気質によるところも大きいです。

今回の海外ビジネス研究会は、そんな国際商業都市「香港」の概要と香港人の気質を、現在の商業都市としての香港の機能がどうなっているのかも交えながら、香港貿易発展局の田中洋三様にお話し頂きます。

\*香港貿易発展局とは

準政府系貿易促進機関。世界各地に50ヶ所の拠点を持ち、香港と中国本土、第三国との間の双方向の貿易振興に当たっています。



日 時： 令和1年12月10日（火）

セミナー： 18:00~19:00 懇親会： 19:00~

（※質疑応答の時間を設けておりますが、田中様のお立场上、政治的なご質問はお控えいただければ幸いです。）

場 所： 柳野国際特許事務所（大阪市淀川区宮原1丁目15-1 ノスクマードビル）

参加費： 5,000円（セミナーのみの場合 3,000円）

問い合わせ先： 06-6394-4831（柳野嘉秀まで）

申込フォーム： 柳野国際特許事務所HP→ [当事務所について] → [セミナーのご紹介] より  
(<http://www.yanagino.com/yanagino/office/seminor.html>)

講演者：田中 洋三 氏

大阪外国語大学中国語学科卒業後、グンゼ株式会社入社。製品販売企画や、世界の様々な国や地域との貿易を手掛けた後、中国進出業務に従事。北京の合弁会社にて商品販売の指揮監督を行う。

2003年香港貿易発展局に転じる。ファッション、食品、物流等、各産業の貿易振興を担当する傍ら、中小企業の香港・中国進出に際してのアドバイザー業務に従事。西日本における地方行政・関係機関及び企業の海外展開支援に尽力している。